

ときがわ町^{どうげんびら}道元平県自然環境保全地域

1 指 定 理 由

本地域は、比企丘陵の西端に位置し、標高 200 メートル程の丘の北面に形成された急崖地からなっている。斜面は、アカマツ林及びコナラ林によって覆われているが、林内には暖帯に生育するウラジロ、ツルグミ、ツルアリドウシのほかに、温帯に生育するアブラツツジ等が見られる。このように、本地域には暖帯及び温帯に生育する植物が共存しており、植物分布上特徴のある地域となっている。また、これら暖帯性の植物の生育地としては、ほぼ北限に近いものである。したがって、本地域は埼玉県自然環境保全条例第 14 条第 1 項第 5 号の「植物の自生地」に該当する。

2 保 全 区 域

イ 所 在 地 比企郡ときがわ町大字田黒字滝の入の一部

ハ 面 積 2.00 ヘクタール